



平成30年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年9月11日

上場会社名 株式会社ティビィシー・スキヤット 上場取引所 東
 コード番号 3974 URL <https://www.tbcsat.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安田 茂幸
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 古澤 誠一 (TEL) 03(5623)9670
 四半期報告書提出予定日 平成30年9月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年10月期第3四半期の連結業績(平成29年11月1日～平成30年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年10月期第3四半期	1,991	6.6	129	102.2	131	192.0	81	162.8
29年10月期第3四半期	1,868	△13.7	64	△56.2	44	△73.0	31	△68.6

(注) 包括利益 30年10月期第3四半期 81百万円(162.8%) 29年10月期第3四半期 31百万円(△68.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年10月期第3四半期	56.59	—
29年10月期第3四半期	22.10	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年10月期第3四半期	3,304	2,005	60.7
29年10月期	3,287	1,952	59.4

(参考) 自己資本 30年10月期第3四半期 2,005百万円 29年10月期 1,952百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年10月期	—	0.00	—	20.00	20.00
30年10月期	—	0.00	—		
30年10月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年10月期の連結業績予想(平成29年11月1日～平成30年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,635	2.4	166	9.9	165	13.4	103	0.9	71.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(注) 特定子会社の異動には該当いたしません、VID株式会社の株式を取得したことに伴い、第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年10月期3Q	1,820,000株	29年10月期	1,820,000株
30年10月期3Q	375,064株	29年10月期	375,024株
30年10月期3Q	1,444,956株	29年10月期3Q	1,407,980株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、完全子会社化したV I D株式会社（以下、「V I D社」という。）の四半期損益計算書を、当第3四半期連結会計期間において連結しております。V I D社は、美容サロン向けPOS型CRMソリューションを専業とした単一事業であるので、セグメント分類は現行の「美容サロン向けI C T事業」に組み込んでおります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、緩やかな回復基調が続いてきましたが、昨今に入り、西日本・九州地区での未曾有の豪雨被害に続き、記録破りの猛暑などにより、消費マインドに影響が出ているという報道も少なからず目にします。

当第3四半期連結累計期間において当社グループは、5月よりV I D社を連結子会社としており、同社の定款、会社規程等の整備や、業務管理水準の向上、内部統制の仕組みの導入などに注力して参りました。また、現行の美容サロン向けI C T事業との相乗効果を発揮すべく、販売体制のみならず、システム開発体制やシステムサポート体制の見直しも行っております。

堅調を続けている介護サービス事業は、介護付き有料老人ホームの満室状態に近い入居率に加えて、6月からの猛暑によりディサービスの利用者が大きく増加しています。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高1,991,880千円（前年同四半期比6.6%の増加）、営業利益129,675千円（前年同四半期比102.2%の増加）、経常利益131,388千円（前年同四半期比192.0%の増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益81,769千円（前年同四半期比162.8%の増加）となりました。セグメント別の業績は、以下のとおりであります。なお、セグメント利益は、営業利益に基づいております。

① 美容サロン向けI C T事業

美容サロン向けI C T事業は、好調であったソフトウェアカスタマイズを伴う大規模多店舗型サロンの買換え受注が一段落し、次の対象顧客との買換え打合せ期間となっております。一方、入替時期が到来している中規模サロンの買換え案件の進捗がやや鈍化しております。豪雨災害や猛暑による消費動向の低下を懸念しているようで、購入に慎重さが見られるようになりました。なお、新規の大型案件の引き合いは堅調であります。

また、当社は、6月に楽天株式会社が運営する「楽天スーパーポイント」の取扱いに関して、2019年4月スタートを目途としたアライアンス契約の締結を行いました。（詳しくは当社6月19日発表のプレスリリース参照）

全国的美容サロンの代表加盟店として、当社サロンPOSシステムの改修や楽天株式会社と打ち合わせを行いながらネットワーク連結の構築などシステム開発に着手しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績（V I D社を含む）は、売上高は1,158,906千円（前年同四半期比10.2%の増加）、セグメント利益は66,038千円（前年同四半期比1,649.4%の増加）となりました。

② 中小企業向けビジネスサービス事業

中小企業向けビジネスサービス事業では、ビジネスモデルの変更を実施しております。会計サービスや業務請負の売上総利益は回復傾向にあるものの、売上の減少傾向に歯止めをかけるまでには至っておりませんでした。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は262,504千円（前年同四半期比2.0%の減少）、セグメント利益は8,793千円（前年同四半期は36.2%の増加）となりました。

③ 介護サービス事業

介護サービス事業では、介護付き有料老人ホームを3施設（栃木県佐野市、群馬県館林市、長野県小諸市）を運営しております。地域の特色を活かした地域密着型の施設運営を行っています。その結果、特定施設入居稼働率では95.6%の維持に加え、猛暑の影響からディサービス・ショートステイも好調に推移しております。

一方、介護予防と地域密着に特化したサービスも、地域への周知も浸透し、新規利用客も増加しております。さらに業容拡大の一環で、地方自治体主体の総合支援事業も受託し、地方自治体と連携した利用者募集活動をスタートします。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は555,308千円（前年同四半期比3.8%の増加）、セグメント利益は49,887千円（前年同四半期比17.5%の増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ77,764千円減少し、1,628,754千円となりました。これは主として、現金及び預金の減少42,152千円、繰延税金資産の減少8,686千円によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ95,031千円増加し、1,676,163千円となりました。これは主として、V I D株式会社の連結子会社化によるのれんの増加114,854千円、建物及び構築物の減価償却累計額の増加25,285千円によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ6,733千円増加し、368,486千円となりました。これは主として、未払費用の減少65,108千円、賞与引当金の増加35,515千円、1年内返済予定の長期借入金の増加10,280千円、その他に含まれる未払金の増加11,538千円、未払消費税等の増加9,458千円、前受金の増加7,523千円によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ42,277千円減少し、931,370千円となりました。これは主として、長期借入金の減少46,260千円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ52,810千円増加し、2,005,060千円となりました。これは主として、利益剰余金の増加52,869千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年12月12日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,402,555	1,360,403
売掛金	205,627	202,486
商品	14,911	16,446
仕掛品	4,407	12,563
繰延税金資産	25,643	16,957
その他	53,665	20,390
貸倒引当金	△292	△493
流動資産合計	1,706,518	1,628,754
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,849,834	1,858,721
減価償却累計額	△937,987	△963,272
建物及び構築物(純額)	911,847	895,449
土地	342,737	342,737
その他	148,838	148,547
減価償却累計額	△123,712	△116,334
その他(純額)	25,125	32,212
有形固定資産合計	1,279,710	1,270,399
無形固定資産		
ソフトウェア	131,472	95,817
のれん	—	114,854
その他	17,728	35,051
無形固定資産合計	149,200	245,723
投資その他の資産		
繰延税金資産	108,561	110,446
その他	60,896	66,797
貸倒引当金	△17,235	△17,203
投資その他の資産合計	152,221	160,040
固定資産合計	1,581,132	1,676,163
資産合計	3,287,651	3,304,917

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	44,207	36,746
1年内返済予定の長期借入金	51,400	61,680
未払費用	174,750	109,642
賞与引当金	—	35,515
未払法人税等	18,126	16,282
その他	73,269	108,620
流動負債合計	361,753	368,486
固定負債		
長期借入金	548,600	502,340
役員退職慰労引当金	79,217	68,725
退職給付に係る負債	310,058	324,013
その他	35,771	36,291
固定負債合計	973,648	931,370
負債合計	1,335,402	1,299,857
純資産の部		
株主資本		
資本金	200,000	200,000
資本剰余金	277,158	277,158
利益剰余金	1,662,602	1,715,472
自己株式	△187,512	△187,570
株主資本合計	1,952,249	2,005,060
純資産合計	1,952,249	2,005,060
負債純資産合計	3,287,651	3,304,917

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年7月31日)
売上高	1,868,994	1,991,880
売上原価	1,133,680	1,158,175
売上総利益	735,313	833,704
販売費及び一般管理費	671,186	704,029
営業利益	64,127	129,675
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	6	8
保険解約返戻金	70	—
施設利用料	1,468	1,357
助成金収入	618	1,862
その他	1,278	1,132
営業外収益合計	3,448	4,368
営業外費用		
支払利息	3,965	2,623
支払手数料	17,997	—
その他	622	30
営業外費用合計	22,585	2,654
経常利益	44,990	131,388
特別損失		
減損損失	576	—
固定資産除却損	0	19
特別損失合計	576	19
税金等調整前四半期純利益	44,414	131,369
法人税、住民税及び事業税	14,450	39,776
法人税等調整額	△1,148	9,823
法人税等合計	13,302	49,600
四半期純利益	31,111	81,769
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	31,111	81,769

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年7月31日)
四半期純利益	31,111	81,769
四半期包括利益	31,111	81,769
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,111	81,769

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、平成30年1月30日開催の第50回定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う打ち切り支給を決議いたしました。

これに伴い、取締役5名に対して、当社の定める一定の基準に従い相当額の範囲内で、役員退職慰労金を打ち切り支給することとし、その支給の時期は各取締役の退任時とし、具体的な金額及び支給の方法等の決定は、取締役会に一任することが決議されました。このため、当該支給見込額については、引き続き役員退職慰労引当金に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成28年11月1日至平成29年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	美容サロン向け ICT事業	中小企業向け ビジネス サービス事業	介護サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,051,263	267,277	534,924	1,853,466	15,528	1,868,994
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	453	—	453	2,520	2,973
計	1,051,263	267,731	534,924	1,853,919	18,048	1,871,967
セグメント利益	3,774	6,458	42,450	52,683	11,417	64,101

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	52,683
「その他」の区分の利益	11,417
セグメント間取引消去	26
四半期連結損益計算書の営業利益	64,127

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに帰属しない電話加入権の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において576千円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年11月1日 至 平成30年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 2	合計
	美容サロン向け ICT事業 (注) 1	中小企業向け ビジネス サービス事業	介護サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,158,906	262,150	555,308	1,976,365	15,514	1,991,880
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	353	—	353	2,520	2,873
計	1,158,906	262,504	555,308	1,976,719	18,034	1,994,754
セグメント利益	66,038	8,793	49,887	124,719	8,973	133,692

(注) 1. 当第3四半期連結累計期間の売上高およびセグメント利益の金額には、新たに連結の範囲に含めたV I D株式会社の平成30年5月1日から平成30年7月31日までの業績が含まれております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	124,719
「その他」の区分の利益	8,973
セグメント間取引消去	△4,017
四半期連結損益計算書の営業利益	129,675

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「美容サロン向けICT事業」のセグメントにおいて、V I D株式会社を取得したことにより、のれんを計上しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において、114,854千円であります。